



## ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋瑞穂区  
苗代町15番1号  
052-824-2511 (代表)  
www.brother.co.jp

「ブラザー工業は、売り上げ収益の海外比率が82%にのぼります。CompTIA認定資格は、グローバルに通用する資格であり、企業価値向上にもつながると考え、導入しました。」

開発センター  
ソフト技術開発部 2G  
シニア・チーム・マネージャー  
松田 誠 様

### 導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Security+
- CompTIA PenTest+

### CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町  
3-4-9 水道橋MSビル7F  
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

## お客様の情報資産を守り、安心してお使い頂ける製品を提供する為に、変化を恐れず挑戦し続ける

「セキュリティ・バイ・デザイン」の実現には、セキュリティリスクを正しく分析・対策できる人材が不可欠であり、人材育成の一環にCompTIA認定資格を導入

### 取得対象者

製品搭載ソフトウェア開発部門のリーダー層  
・ P&S事業：LC開発部、IDS開発部、PA開発部  
・ 開発センター：ソフト技術開発部

### 取り組みの背景

ブラザー工業は、“At your side.”の精神のもと、サービスのみならず企画・開発・設計・製造などのあらゆる場面でお客様を第一に考えた企業文化を育成し、お客様から「信頼できるブランド」として認識されることを目指しています。

### 新たなビジネスモデルへの転換を加速

ブラザーグループでは、プリンティング領域での勝ち残りを掲げ、「ブラザーらしい新たなビジネスモデル」への転換の加速、高付加価値上位機種へのシフトを進めています。SOHO向けの消耗品残量検知・自動発送サービスやSMB市場向けの契約型ビジネス（MPS）、更にエンジニアによる顧客訪問を通じた真に役立つソリューション提案など、顧客とのつながりを強化し、提案型ビジネスを推進しています。

### IoT製品に対するサイバーセキュリティへの脅威

このような背景もあり、プリンタ、複合機は、高機能化が進み、ネットワークやクラウドと連携した多くの機能を搭載しています。身近なIoT製品として、多くのお客様にご使用頂いている一方で、近年、こういったIoT製品をターゲットとしたサイバー攻撃の脅威が増大しています。お客様に安心して製品をお使い頂く為に、ブラザー工業では、「製品情報セキュリティ基本方針」を定め、製品情報セキュリティの向上、迅速な製品情報事故対応体制構築、従業員の情報セキュリティリテラシー向上等を進めています。



**CompTIA Security+**は、セキュリティ概念、脅威や脆弱性、ツール、対応手順に関連するスキルや、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的に実施されるべき運用手順などのスキルを評価する認定資格



**CompTIA PenTest+**は、ペネトレーションテストの手法、脆弱性評価、攻撃があった際にネットワークを回復するためのベストプラクティスを学び、組織におけるITセキュリティ全般的な状態の改善を図るための戦略を提案できるスキルを評価する認定資格

### 取り組み

#### 製品開発のコモンセンスとして「CompTIA Security+」を導入

- 製品搭載ソフトウェア開発部門のリーダー層の資格取得を推進
- ・ レーザー/インクジェット製品開発部門
- ・ PCアプリ/スマートフォンアプリ開発部門
- ・ ネットワーク機能開発部門

#### <導入対象者のコメント>

- ・ 情報セキュリティの基本を幅広く網羅しているため、俯瞰して考えられるようになった
- ・ IT管理者の情報セキュリティ視点を理解でき、今後の製品設計に活かせると思う
- ・ 今回得た情報セキュリティに対する知識、考え方は、直接、業務に活用できる内容だった

#### 更なるスキル向上の為、「CompTIA PenTest+」の導入

- セキュリティ視点で脅威を分析する設計者の資格取得を推進
- ・ 攻撃者視点での製品、機能仕様をレビューするオフenseセキュリティのマインド育成
- ・ リスクを正しく分析し、製品特性を見極めた上で、最適なセキュリティ対策を提案

「製品開発リーダー層への教育として、情報セキュリティについてバランスよく学べ、グローバルにも通用するSecurity+の導入を行いました。もちろん資格取得のために学習できることも多いですが、資格取得後も「資格保持者」という立場・自覚により、日頃の情報収集や行動/判断基準の変化を期待できます。また、そういったリーダー層の変化が、職場に波及し、全体の底上げを期待できるのではないかと考えています。」

開発センター ソフト技術開発部  
プリンシパル 大原 清孝 様

CompTIA®